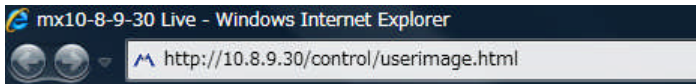


# MOBOTIX モザイク表示

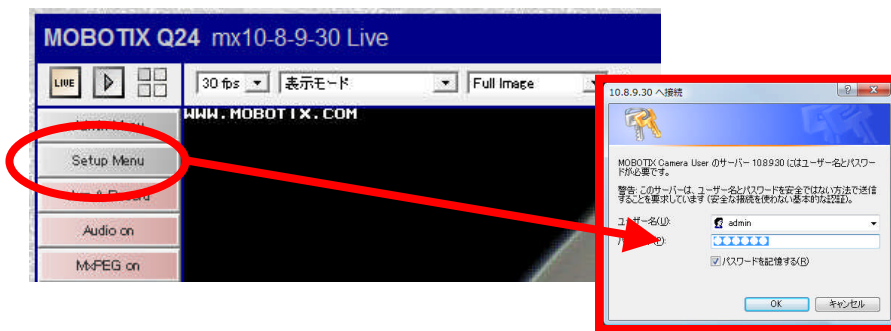
1. ブラウザから設定したいカメラにアクセスします。



2. カメラの「**Setup Menu**」をクリックします。ユーザ名とパスワードを問われた場合は入力します。

初期ユーザ名 : admin

初期パスワード : meinsm



3. **SetupMenu** の「一般画像設定」を開きます。

## 画像コントロール

- **一般画像設定** (カメラ、サイズ、シャープネス、ぼかし領域...)
- **露光設定** (画像強調、露光ウィンドウ)
- **カラー設定** (カラープロファイルと色)
- **JPEG設定** (MxPEGとJPEG画質)
- **テキストと表示設定** (テキスト表示とエラーメッセージ、オブジェクトトレース)
- **vPTZ Settings** (movement and Surround settings)

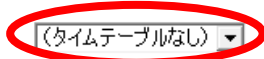
4. ページ右下に **一部** のボタンがあることを確認します。 **全体** の場合は、クリックして画面表示を全体に切り替えます。

5. ページ下部の「**ぼかし画像領域(OA)**」をお「**使用可**」に変更します。



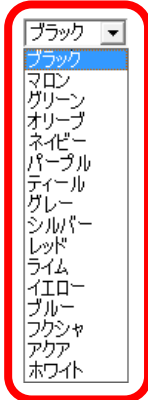
6. タイムテーブルを使用したい場合は、作成したタイムテーブルを選択します。

\*タイムテーブルの使用方法に関しては、別途タイムテーブルのマニュアルを参考ください。



**ぼかし画像タイムテーブル**  
時間制御によるぼかし画像のタイムテーブルプロファイルです。 ([タイムテーブル](#))

7. モザイク表示ではなく、指定したエリア領域を色で塗りつぶしたい場合は、こちらで塗りつぶす色を選択します。



Obscure Image Color:  
Select color for filled boxes and crossed frames.

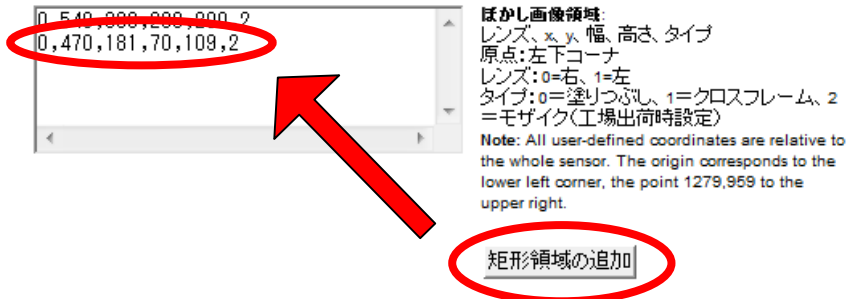
8. モザイク表示したいエリア領域を入力します。  
一度ライブ画像に戻り、エリア領域をかけた左上部に「Shift キー」を押しながら **1 クリック** します。すると、黄色いポイントが表示されます。



9. 次にエリア領域をかけた右下部分に **1 クリックのみ** します。すると黄色い長方形の枠が表示されます。



10. モーションの定義下にある **矩形領域の追加** をクリックします。すると、座標軸が自動的に入力されます。



11. モザイク表示タイプを選択します。

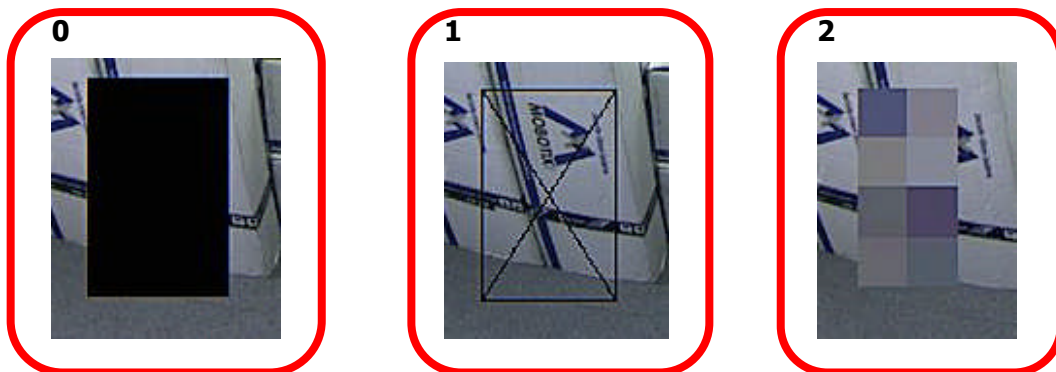
座標軸は左から[レンズ,X軸,Y軸,幅,高,モザイク表示タイプ]になります。

0,756,341,45,96,2

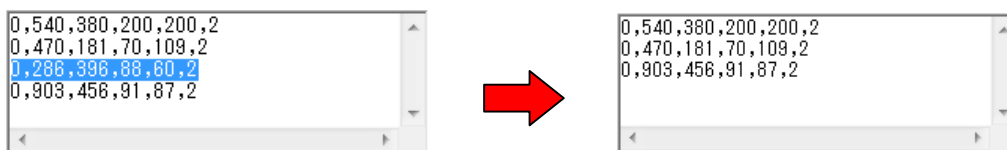
モザイク表示タイプ 0: 「7」で指定した色に塗りつぶします。

1: 「7」で指定した色のクロスフレームで表示します。

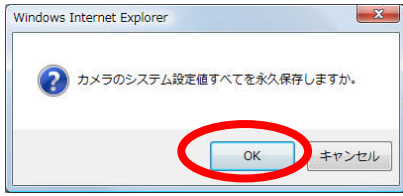
2: モザイク表示します。



12. 削除したいエリア領域は座標を選択し、「delete」で1ライン削除します。



13. 最後にページ下部の **設定** をクリックして、画面がぱっと切り替わったら **閉じる** をクリックして、ポップアップページの「OK」でフラッシュメモリに保存し終了です。



**MXJ\_CameraManual\_Logo\_Rev1.1.pdf**

**MOBOTIX JAPAN**

**<http://www.kjfellow.com/>**